



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 トーモク

上場取引所 東 札

コード番号 3946 URL <http://www.tomoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤 英男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 内野 貢

TEL 03-3213-6811

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	107,320	3.4	4,150	15.1	4,586	14.2	2,490	18.3
25年3月期第3四半期	103,777	5.7	3,605	1.0	4,014	3.1	2,105	△8.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,692百万円 (64.5%) 25年3月期第3四半期 2,244百万円 (35.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	26.64	—
25年3月期第3四半期	22.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	125,822	51,112	39.2
25年3月期	115,464	48,017	40.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 49,300百万円 25年3月期 46,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,000	5.3	8,300	22.9	8,500	18.6	4,500	19.6	48.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	96,707,842 株	25年3月期	96,707,842 株
26年3月期3Q	3,239,341 株	25年3月期	3,225,143 株
26年3月期3Q	93,477,999 株	25年3月期3Q	93,497,106 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、政府による経済対策や日銀の金融緩和を背景に企業の業況感は広がりを伴いつつ緩やかに回復しています。個人消費は雇用・所得環境が改善するなかで引き続き底堅く推移しています。公共投資は増加を続けており、出遅れていた設備投資も持ち直しつつあります。然しながら欧州債務問題や新興国・資源国経済の動向など、今後の展開によっては日本経済に大きな影響を与えるものと考えられます。

その中で当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は107,320百万円（前年同期比3.4%増）、経常利益は4,586百万円（前年同期比14.2%増）、四半期純利益は2,490百万円（前年同期比18.3%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

〔段ボール〕

段ボールの需要は、加工食品、青果物などの食品向けや通販・宅配向けの需要が伸長し、前年同期を上回りました。

当社グループの段ボール生産量は、飲料・冷凍等の加工食品向けの増加もあり前年同期を上回りました。段ボール工場では開発体制の強化をはかるとともに省電力化の推進と労働環境の整備や照明のLED化を進めました。主力工場である館林工場では物流体制の整備を行って製箱部門の月産2,000万㎡体制を敷きました。大一コンテナ㈱では工場棟、事務所棟を刷新するなど工場環境を整備するとともに貼合機のS&Bと高性能の印刷機の導入により生産能力の増強と品質面の強化をはかりました。

段ボールの売上高は62,843百万円（前年同期比2.1%増）となり、営業利益は5,781百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

〔住宅〕

住宅市場においては、住宅の安全・安心、非常時のエネルギー確保に対する関心が高いことや雇用や所得環境の改善などに加え金利や地価の先高観や消費増税を見越した住宅投資への意欲の高まりにより新設住宅着工戸数は堅調に推移しました。

スウェーデンハウス㈱では高断熱と高气密による省エネ性能をアピールし、紹介受注の強化、お客様ニーズを先取りした提案など販売体制の強化に努めました。また30年の感謝を込めて全国各地でオーナーサンクスデーを催しお客様に喜んでいただきました。

住宅の売上高は28,275百万円（前年同期比6.5%増）、また売上が第4四半期に集中し上半期はコストが先行するという住宅事業の特性もあり、営業損失は2,017百万円（前年同期は営業損失2,096百万円）となりました。

〔運輸倉庫〕

運輸倉庫においては、道央地区と仙台地区の体制強化をはかりました。また夏場の猛暑により東日本エリアの飲料部門を中心として取扱量が増加し、売上高は16,201百万円（前年同期比3.2%増）となり、営業利益は978百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、たな卸資産や有形固定資産等の増加により前連結年度末比10,357百万円増加し125,822百万円となりました。負債は長期借入金等の増加により前連結年度末比7,262百万円増加の74,709百万円となり、純資産の部は利益剰余金の増加などにより前連結年度末比3,094百万円増加の51,112百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月7日に発表いたしました業績予想の達成に引き続き努めてまいりますので、これを変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,575	9,724
受取手形及び売掛金	25,222	27,332
たな卸資産	9,873	14,265
その他	3,974	4,785
貸倒引当金	△33	△87
流動資産合計	54,611	56,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,297	16,452
機械装置及び運搬具(純額)	12,353	11,805
土地	18,676	24,288
その他(純額)	1,711	2,420
有形固定資産合計	48,039	54,966
無形固定資産		
454		415
投資その他の資産		
投資有価証券	8,303	10,238
その他	4,379	4,481
貸倒引当金	△324	△299
投資その他の資産合計	12,358	14,420
固定資産合計	60,852	69,802
資産合計	115,464	125,822

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,549	15,592
短期借入金	3,206	2,940
1年内返済予定の長期借入金	8,949	3,261
未払法人税等	2,107	692
賞与引当金	1,805	839
その他の引当金	392	292
その他	9,482	13,948
流動負債合計	41,492	37,567
固定負債		
長期借入金	17,566	28,331
退職給付引当金	2,921	3,028
その他の引当金	660	599
その他	4,806	5,183
固定負債合計	25,954	37,142
負債合計	67,446	74,709
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,138	11,138
利益剰余金	21,376	23,305
自己株式	△669	△673
株主資本合計	45,515	47,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	903	1,607
繰延ヘッジ損益	190	166
為替換算調整勘定	△152	86
その他の包括利益累計額合計	941	1,860
少数株主持分	1,560	1,811
純資産合計	48,017	51,112
負債純資産合計	115,464	125,822

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	103,777	107,320
売上原価	83,440	85,610
売上総利益	20,337	21,710
販売費及び一般管理費	16,731	17,559
営業利益	3,605	4,150
営業外収益		
受取利息及び配当金	147	165
持分法による投資利益	343	330
雑収入	384	385
営業外収益合計	875	881
営業外費用		
支払利息	305	208
雑損失	160	237
営業外費用合計	466	445
経常利益	4,014	4,586
特別利益		
保険差益	22	133
段階取得に係る差益	82	—
特別利益合計	104	133
特別損失		
固定資産処分損	113	142
投資有価証券評価損	174	9
減損損失	19	9
その他	6	—
特別損失合計	313	161
税金等調整前四半期純利益	3,806	4,559
法人税、住民税及び事業税	2,059	2,209
法人税等調整額	△381	△405
法人税等合計	1,678	1,804
少数株主損益調整前四半期純利益	2,128	2,754
少数株主利益	23	264
四半期純利益	2,105	2,490

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,128	2,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43	707
繰延ヘッジ損益	△30	△23
為替換算調整勘定	101	255
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△1
その他の包括利益合計	116	938
四半期包括利益	2,244	3,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,209	3,409
少数株主に係る四半期包括利益	34	283

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	61,532	26,544	15,699	103,777	—	103,777
セグメント間の内部売上高 又は振替高	340	5	2,556	2,903	△2,903	—
計	61,873	26,550	18,256	106,680	△2,903	103,777
セグメント利益又は損失(△)	5,325	△2,096	915	4,144	△539	3,605

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△539百万円には、セグメント間取引消去34百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△574百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	62,843	28,275	16,201	107,320	—	107,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高	289	188	2,781	3,259	△3,259	—
計	63,132	28,464	18,982	110,580	△3,259	107,320
セグメント利益又は損失(△)	5,781	△2,017	978	4,741	△590	4,150

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△590百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△590百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。